

キャンバスのIR

2022年の活動の振り返り

2026年8月

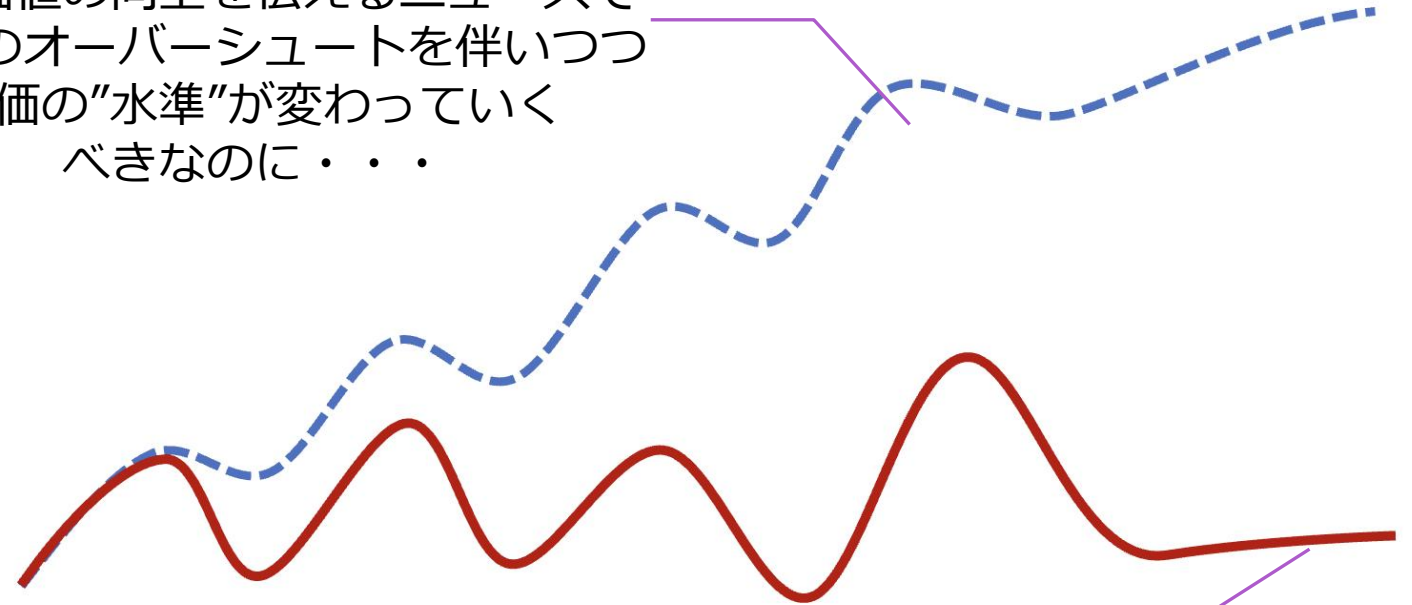
株式会社キャンバス 取締役CFO 加登住 眞

The background features a series of concentric circles in light gray, some solid and some dashed, creating a ripple effect. In the center, there is a red speech bubble with a white border. The text is written in white within this bubble.

解決したかった
課題

バイオ銘柄に ありがちな 株価カーブ

企業価値の向上を伝えるニュースで
若干のオーバーシュートを伴いつつ
株価の“水準”が変わっていく
べきなのに・・・



数日のうちに
ニュースが消費され
元の株価に戻る繰り返し
(派手なオーバーシュートだけ)

これではいつまで経っても
株価の“水準”を変えることはできない

The background features a series of concentric circles in light gray, some solid and some dashed, creating a ripple effect. In the center, there is a large red speech bubble with a white outline. The text is written in white within this bubble.

課題解決の 検討と実行

諸制約の中で IRを充実 させる検討

情報量

- 「多すぎる」と批判されていた情報資源を逆に活用

情報の内容

- 臨床試験（当時第2相スタート前）の進捗以外に材料なし
→ 「ならば出せる限界まで出そう」

想定読者（情報の質とチャンネル）

- 機関投資家は基本的にこの時価総額水準の銘柄に興味薄
→ 「ならば個人投資家層に育てていただく」
- 誤解や過度の煽りにならないよう細心の注意
- 個人投資家層が情報収集に活用しているX（旧Twitter）を
情報アクセスのインデックスに

成長可能性を訴求するマイルストーンは
開発の進捗

この中身の本気で説明し理解していただく

具体的に
やったこと
(やれることは何でも)

会社プレゼンテーション資料

- 米国バイオテックに見られるIR手法の模倣で開始（20年12月）
- 2021年9月からはほぼ月例で頻繁に更新するように

ブログ

2015年から続けていた経営者ブログの更新を頻繁に

- 22年1月 「臨床第2相試験をご理解いただくために」で臨床第2相試験の構造・狙い・有望の兆候を予告

TDNET適時開示

- 22年1月から被験者組入れ進捗を月次開示（業界では異例）
- 臨床試験中に発生した企業価値変動イベントを随時速報公表（たまたま採用した特殊な臨床試験構造により可能だった）

X（当時Twitter）

- すべての適時開示を当日中に平易な言葉で解説
- 質疑応答を原則即日実施
- 会社プレゼンテーション資料や過去ブログ記事への誘導強化

起きたこと

2022年6月～ 株価上昇・出来高増加

その後も“水準”を変えたまま現在まで推移

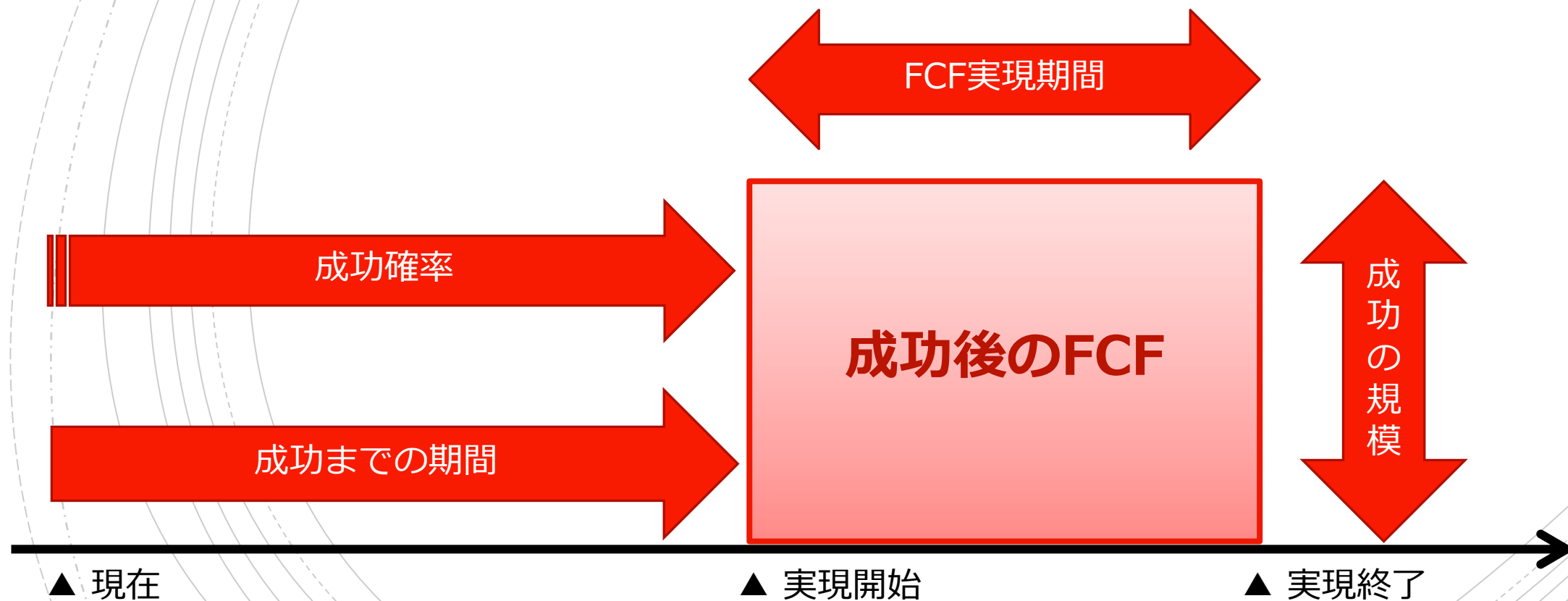
キャンバス 時価総額推移
(2009年9月IPO～現在)



The background features a series of concentric circles in light gray, some solid and some dashed, creating a ripple effect. In the center, there is a red speech bubble with a white outline and a small tail pointing downwards.

rNPVに着目した
企業価値評価を
主張

将来のFCFの
現在価値に
影響する4要素



企業価値成長とは
これら4要素を
高めること

FCF実現期間

成功後のFCF

成功確率

成功後のFCF

成功までの期間

成功の規模

▲ 現在

▲ 実現開始 ▲ 実現開始

▲ 実現終了 ▲ 実現終了